

浸透トレンチ（ポラコンパイプ）のメンテナンス

◇ ポラコンの維持管理

本来の機能を損なわないように、衛生・環境の管理を安全に行い、流出抑制機能及び浸透機能を維持する管理（メンテナンス）が必要となります。

浸透トレンチ（以下、ポラコンパイプとする）は、浸透柵と併設するのが基本的な設置方法になります。一般的に複数の柵を繋ぐように計画します。浸透柵とポラコンパイプの接続水位を上回った分の雨水がポラコンパイプに流入します。浸透柵が雨水に含まれる土砂を捕捉するので、ポラコンパイプへのSS分の流入は少なくなり、浸透能力の残存率は高くなります。また、ポラコンパイプは施設の構造上、清掃による浸透面の目詰まり除去が困難であり、外見からは目詰まりによる機能低下具合が判断しにくいいため、管口フィルターを設置することが非常に重要になります。（写真1）



写真1 管口フィルター

◇ ポラコンの点検・メンテナンスの内容

点検作業	定期点検 [時期] 年1回以上。雨期の前等。	・破損等、施設状態の点検 ・土砂やゴミ等の堆積状況（メジャー等で確認）	[点検項目] <input type="checkbox"/> 土砂、ゴミ、落葉の堆積状況 <input type="checkbox"/> ゴミ除去フィルターの閉塞状況 <input type="checkbox"/> 樹根の侵入の有無 <input type="checkbox"/> 蓋のズレ <input type="checkbox"/> 施設の破損・変形 <input type="checkbox"/> 地表面の状況（沈下、陥没等）
	非常時点検 [時期] ・大雨が予想される前 ・地震等の災害後 ・周辺での土工事等の終了後	・大雨が予想される前の点検 ・地震等の災害後の破損、損壊等の状況の点検	
	機能点検	・簡易浸透試験による機能確認（バケツ等で注水し、目視にて確認する） ・降雨時の機能確認	
	安全点検	・破損等の施設状態の点検	
メンテナンス	清掃	・土砂、ごみの除去	
	補修修繕	・点検時の破損を発見後の補修	

表1 ポラコンの維持管理・点検内容

◇ ポラコンパイプのフィルターの清掃

パイプ（トレンチ）の流入口に設置する管口フィルター等に付着したごみ類をブラッシングにより除去する。

清掃方法	・接続する柵や管口フィルターの清掃を重点的に行う ・管口フィルターの清掃は人力で行い、透水管の清掃は高圧洗浄機を用いて行う
注意事項	透水管内の洗浄で高圧洗浄機を利用する場合、噴射圧で土粒子を浸透面に押し込み浸透能力を低減させてしまうことがあるため、浸透面に対して垂直に当てないように注意する

※目詰まり防止装置（フィルター等）が破損している場合、付着物が取れない場合は交換してください。